

教 | 育 | 実 | 習 | イ | ン | タ | ビ | ュ | ー

愛知教育大学の教育実習は主に、1年次には授業参観中心の基礎実習、3年後期に4週間の主実習、4年前期に2週間の隣接校種実習があります。(選修・専攻・コースによって異なりますので、詳細はp.10-11の「教育課程とカリキュラム」ページをご覧ください)

interview 01

中等教育教員養成課程 数学専攻4年

愛知県立名古屋西高校出身
実習先／愛知教育大学附属名古屋中学校

実習の現場は、机上で考えていたものとは全く違いました。

中学3年の子どもたちに、専門の数学と道徳を指導しました。事前に決まっているのは担当する単元だけで、授業の進め方や指導方法は自分で計画を練ります。それを「指導案」として書面にまとめ、実習先の先生にチェックしてもらったのですが、私は7回も修正させられました(笑)。しかし、ベテランの先生方にしっかり見ていただいたおかげで、安心して授業に臨むことができました。こうして万全の準備を整えたつもりで初授業でしたが、思い通りにはいかないものです。私には当初、教師と生徒の関係が「ともだち」「なれあい」になってはいけないという思いがあり、子どもたちとのコミュニケーションに一線を引いていました。それが徒となり、いつの間にかへんな距離ができてしまって…。担当の先生に打ち明けたところ「自然体がいちばん」とアドバイスをいただき、その後は肩の力も抜け、次第に生徒たちと打ち解けることができました。あと、現役の数学の先生の授業を見て衝撃を受けました。子どもの発言を促し、先生は交通整理するだけで、子ども自身に気付かせるという授業スタイル。教育の奥の深さを痛感しましたね。こうした経験から、現場は机上で考えて



いたものとは全く違って、教育とは一人ひとりの子どもと触れ合い、肌で感じ、どうすべきかをその場で考えていかなければならないことを学ぶことができました。将来は、目立った子どもだけに注目するのではなく、一人ひとりの子どもの気持ちをしっかり理解し、その子の本質を引き出してあげられるような先生になりたいです。

今回配属となった附属名古屋中学校には、愛教大から47人も学生が実習でお世話になりました。また、実習先にも愛教大出身の先生が大勢いらっしゃいました。



interview 02

初等教育教員養成課程 理科選修4年

名古屋経済大学高蔵高校出身
実習先／愛知教育大学附属名古屋小学校

手づくりの教材を授業で生かすことができ、安心しました。

教育実習は、入学してからずっと楽しみにしていたカリキュラムの一つでした。子どもたちと触れたい、自分の授業をやってみたい、とずっと思っていました。私の担当は5年生で、実習授業は全7回。科目は理科だけでなく、国語、算数、そして体育もあり、事前に教科書や学習指導要領を何度も読み返して準備しました。特に理科は教材が大事だと大学の教授にも言われていたので、実習前にじっくり作りこみました。「流れる水のはたらき」という単元だったので、実際に庄内川へ行き、ポイント毎に石を採集したり、写真を撮ったりして授業に生かしました。どんな教材をつくるか、教材をどう使うかは、すべて自分で考えなければなりません。砕いた石をフィルムケースに入れて子どもたちに振らせるところ、みんな楽しそうにやってくれたのでほっとしました。その他、体育の授業では、最初は4段の跳び箱が飛べなかった子が、最後の授業ではなんと8段まで飛べるようになったのには驚きました。たった4週間でしたが、その短い間に子どもの成長を垣間見ることができたのはすごく嬉しかったし、貴重な体験ができたと思います。今回の実習を通じて、1時間の授業にかける先生の



最初は担当の先生に「表情が硬いね」と言われました。「先生が硬い顔をしていると、子どもも不安になるよ」って。なるべく笑顔を心掛けましたね。

思いだったり、子どもたち一人ひとりの接し方だったり、自分が今まで見ていなかったことを数多く学びました。自分の指導方法や教材が、今目の前にいる子どもたちに本当に合っているのか、それを考えながら授業を進めなければならないことを肌で感じました。あらためて「先生になりたい!」という自分の強い気持ちを確認することができた4週間でした。



附属幼稚園での実習



附属幼稚園での実習



附属名古屋小学校での実習



附属岡崎小学校での実習



附属名古屋中学校での実習



附属岡崎中学校での実習



附属高等学校での実習



特別支援学校での実習